



### ジャパン・ソサエティー・ジュニアフェロー・リーダーシップ・プログラム (現高1・高2対象)

これまでは米国海外研修という形で実施されてきましたが、2021年度は新型コロナウイルス感染防止の趣旨から参加生徒及び関係者の健康・安全面を最優先するためにオンラインの国際交流プログラムとして日米10名のジュニアフェローが募集されます。参加生徒はオンラインでの各界のリーダーとの面談・意見交換、SDGsから選んだテーマのチーム・プロジェクト、日米同窓生との交流やディスカッション、またプログラム後にも行われる継続的なリーダートークや日米交流イベントへの参加を通して、米国文化理解、日米関係の考察を深めます。

#### 【Japan Society New York とは】

ジャパン・ソサエティー (Japan Society) は1907年にニューヨークに設立された米国の民間非営利団体です。個人・法人・財団からの支援・協力のもと、全米随一の規模を誇る日米交流団体として幅広い活動を展開しています。創立当初からの願いである両国間の協調と友好関係の構築・発展は100年以上を経た現在も変わることなく、全ての事業における基本理念として挙げられています。

参考 URL <http://www.japansociety.org/>

#### 【Junior Fellows Leadership Program】

日程

オンライン学習会 2021年2月13日(土)～14日(日) 週末午前中

内容 オリエンテーション1、ディスカッション、米国高校とのビデオ交流企画開始  
日本側アラムナイとの交流、SDGs チーム・プロジェクト企画

研修日程 2021年3月20日(土)～4月4日(日)

日米の時差を考慮し、平日学校終了後から夕方/週末の午前中、指定日に実施

3月20日(土)～21日(日)

オリエンテーション2、米国側アラムナイとの交流、ディスカッション、  
SDGs チーム・プロジェクト開始

3月22日(月)～27日(土)

リーダーとのオンライン・カンファレンス1&2  
SDGs チーム・プロジェクト実施

3月28日(日)～4月3日(土)

リーダーとのオンライン・カンファレンス3&4  
SDGs チーム・プロジェクト分析・まとめ  
米国高校生とのビデオ交流

4月4日（日）

## SDGs チーム・プロジェクト発表

【募集人員】 全国で10名

【参加費用】 無料

【応募資格】

- ①高校1年または2年に在籍している生徒であること。
- ②英検準2級以上、もしくはTOEIC他それ同等の資格を有する生徒であること。
- ③学校長もしくは担任教諭が推薦する成績優秀な生徒であること。

例：リーダーシップに秀で、向上心の強い生徒

国際交流に関心が高く、意欲的に取り組める生徒

積極的に自分の意見を述べ、他人の意見を聞くことができる生徒

柔軟性があり、新しいことに率先して取り組む姿勢がある生徒

- ④学校を代表し、全日程に参加が可能であり、時間外で行われる課題にも取り組める生徒
- ⑤心身ともに健康であること。

【本校内募集スケジュール】

1校からの応募は上限2名までとの指定があるため参加希望の生徒はA4用紙に①クラス・番号・氏名、②パソコン用のメールアドレス、③英検等の英語力を示す資格④プログラムへの参加志望動機を書いて11月25日（水）朝8時までにグローバル教育部へ提出して下さい。用紙は特に指定のものはありません。記載は手書き・PCどちらでも結構です。希望者が3名以上の場合には抽選も含め何らかの選考を実施します。その後、推薦書、成績証明書の作成、生徒による小論文の作成があるので期限厳守をお願いします。上記締め切り後の受け取りはお断りします。

【校内選考通過後の小論文テーマ】

「将来の目標やキャリアの希望を達成する上で、Junior Fellows Leadership Program での経験をどう役立てたいか」横書き800字以内（ワープロ使用可）

【プログラム参考 URL】

[www.japansociety.org/japanese-fellows-apply](http://www.japansociety.org/japanese-fellows-apply)

### リーダーシップ研修

課題図書やリサーチ、参加フェローとのオンライン・ディスカッション、ワークショップを通して、リーダーの資質・人格やスキルを考察し、また将来のリーダーとしての意識を高めます。



## UWC (ユナイテッド・ワールド・カレッジ) 奨学生募集 現高1生のみ対象

本プログラムは2年間に渡るものなので最終選考通過後は世界各国のUWC校で卒業資格を取ることになります。その意味では海城高校卒業後はまずは国内の大学に行つてといったこれまで漠然と抱いていた将来設計が大きく変わる可能性もあり、応募に当たっては慎重に検討する必要があります。現高校2年生の生徒2名が前年度の最終選考を合格し8月～9月にかけて出発していきました。同じ学校から同時に2名もの生徒が合格すること自体すごいことですが、両名とも自らの意思で本校での籍を残さずに現地へと旅立っていきました。また例年にない特殊事情として海外における新型コロナウイルス感染が今後どう推移するか不透明な部分もあるのでその意味でも冷静にご検討下さい。本校としては情報提供というスタンスで以下お知らせします。

### 【UWCとは】抜粋

#### I. UWCのプロジェクト

UWC (United World Colleges) は、世界各国の国内委員会 (UWC National Committees) が選抜・派遣した生徒 (日本の場合、派遣時、高校2年生) を中等教育期間終了前の2年間受け入れ、国際感覚豊かな人材を育成することを使命としている。

UWCの本部はロンドンにあり、その運営は常任理事会 (UWC Executive Board) があたっている。国際理事会 (UWC International Board of Directors) と5年ごとに開催される国際評議員会 (International Council) は、UWCの運営について助言を行っている。

UWCの最初のカレッジは、1962年に開校したイギリス校である。その後、カナダ校(1974年)、シンガポール校(1975年)、エスワティニ校(1981年)、イタリア校(1982年)、アメリカ校(1982年)、ベネズエラ校(1988年、2012年閉校)、香港校(1992年)、ノルウェー校(1995年)、インド校(1997年)、コスタリカ校(2006年)、ボスニア・ヘルツェゴビナ校(2006年)、オランダ校(2009年)、ドイツ校(2014年)、アルメニア校(2014年)、中国校(2015年)、タイ校(2016年)、日本校(2017年)、タンザニア校(2019年)が開校し、現在、18校のカレッジがある。UWCは今後も世界各地にカレッジを開設していく計画を持っている。UWCは国際感覚豊かな有能な人材を多数養成しており、国際的な相互理解という点でも大きな貢献を行っている。

### 【応募スケジュール】抜粋

#### 1. 応募・事前審査 [2020年11月]

必要な書類を提出 (様式指定のあるものは日本協会のHPからダウンロードし、記入)

①UWC奨学生願書、②2021年度UWC奨学生応募シート、③受験承諾書、④追加提出書類 (日本協会特別支援奨学生のみ)

※このほか、日本に永住権を持つ外国人の場合は在留カード、日本と外国の国籍を有する人はパスポート、それぞれ顔写真ページのハードコピーを上記と一緒に提出してください

応募者に対しては、①日本協会の選考会に対し過去受験歴がないこと、②今年度の応募資格を確認すること (願書等提出書類内容による書類選考は行いません)

受験料 18,000 円 (事前に銀行振り込み)

## 2. 一次選考〔2020年12月13日(日) 東京・大阪〕

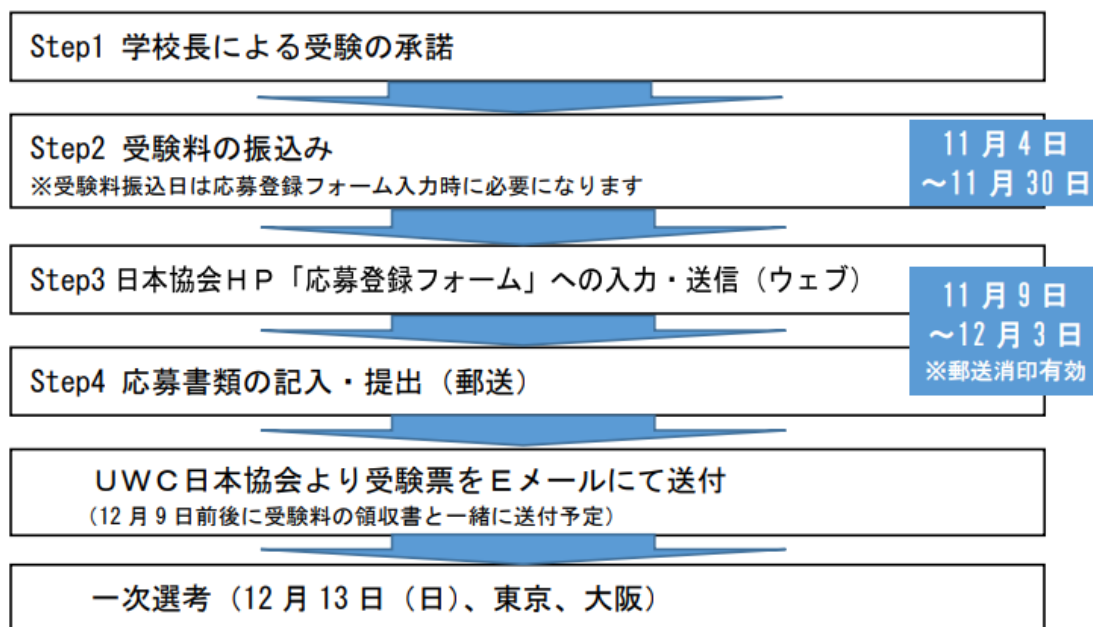
(1) 筆記試験：英語、国語、数学

### 【出題範囲】

- ① 英語：選択式で、実用英語検定2級程度の内容を問う。
- ② 国語：公立高校1年の2学期までの学習範囲で、文章読解、国語知識（漢字の書き取りや読み）を問う。古文・漢文は出題範囲から除かれる。
- ③ 数学：記述式で、公立高校1年2学期までの数I分野（「図形と計量」の正弦定理・余弦定理、「データの分析」分野を除く）および中学校課程の分野から問われる。

(2) 合否基準：全ての科目で合格点を超えること  
その後二次選考が実施されます。

### 1. 応募から一次選考までの流れ



参考 URL <http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/UWC/invitation.html>

既に募集が始まっています。学校長の承諾が必要となるため応募を検討する生徒は口頭で結構ですのでグローバル教育部へその旨お知らせ下さい。

\*コロナ禍の中で生徒諸君に提供できる情報もあまりなく前号発行から時間が過ぎてしまい失礼しました。今号は紙媒体でなく実験的に一斉配信でお届けしてみました。この形である程度の生徒諸君の目に触れてくれるのであれば、資源節約・印刷室の業務負担軽減の観点から本格的に導入を検討してみたいと考えております。引き続きご愛読の程、どうかよろしくお願い致します。